

《履修上の留意事項》[面接授業と遠隔授業の併用実施]

《担当者名》金盛 直茂

【概 要】

経済学は初めての方が多くと思います。経済学は、今を生きるために必要な道具です。決して学者や官僚の方々だけが知っていれば良いものではありません。この企業に入社すべきなのか？この人と結婚すべきなのか？いま、家は建てるべきなのか？人生の重大な選択の際、経済学はあなたに示唆を与えてくれます。
本授業で経済学を学ぶことによって、現実の様々な問題（身近な日常的問題から日本経済まで）を、経済学的思考で、考えることができるようになるでしょう。

【学習目標】

1. 経済学（主に、ミクロ経済学とマクロ経済学）の基礎を習得し、資本主義経済の仕組みを理解することです。
2. 経済学の基礎をもとに日本の財政・金融政策から社会保障を概観し、社会の問題に対して経済学的視点で説明することができることです。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	ガイダンス	経済学とはどのような学問かを理解する。	金盛 直茂
2	経済学の考え方①	トレードオフと機会費用を使って、人々がどう選択するかを考える。	金盛 直茂
3	経済学の考え方②	経済循環図から、市場経済・計画経済との違いを考える。	金盛 直茂
4	経済学の考え方③	需要と供給から市場を理解する。	金盛 直茂
5	経済学の考え方④	需要と供給を使って、様々な市場に応用する方法を学ぶ。	金盛 直茂
6	経済学の考え方⑤	市場の失敗と政府の役割を理解する。	金盛 直茂
7	日本経済の仕組み①	GDPとはどのようなものを学び、日本のGDPはどれほどかを理解する。	金盛 直茂
8	日本経済の仕組み②	日本の財政政策。政府支出は、GDPをどれほどあげるのか。	金盛 直茂
9	日本の社会保障①	人口減少と社会保障。少子化はなぜ起きたのか。	金盛 直茂
10	日本の社会保障②	公的年金制度。賦課方式と積立方式の違いを学ぶ。	金盛 直茂
11	日本の社会保障③	医療保険制度。医療保険と財政の問題を考える。	金盛 直茂
12	日本の社会保障④	生活保護制度。生活保護と財政の問題を考える。	金盛 直茂
13	日本の財政①	歳入から日本の財政状態を把握する。	金盛 直茂
14	日本の財政②	日本の財政赤字。とくに、プライマリーバランスとは何か	金盛 直茂
15	総括	平成と令和の日本経済。バブル以降の失われた20年を概観する。	金盛 直茂

【評価方法】

小テスト40%、期末試験60%で評価します。小テストを毎回の授業で課し、決まれた日時までに提出してもらいます。小テストは、次回の授業にて返却し、授業内で小テストの解説を行います。

【備 考】

教科書 ： 使用しません。毎回、プリント資料を配布します

参考書 : マンキュー 『マンキュー入門経済学 第3版』, 東洋経済新報社, 2019年
安岡匡也 『経済学で考える社会保障制度』, 中央経済社, 2017年
伊藤元重 『入門経済学 第4版』, 日本評論社, 2015年
中谷武、中村保 編 『1からの経済学』, 碩学舎, 2010年

【学習の準備】

復習：授業終了後に小テストと課題を提示します。小テストと課題に取り組むこと（80分）。

予習：関連した文献、記事を提示するので、読んでおくこと（80分）。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP1. 人々のライフステージに応じた疾患の予防、診断および治療を実践するために基本的な医学、歯科医学、福祉の知識および歯科保健と歯科医療の技術を習得するために必要な基礎知識を医療経済学の観点から修得する（専門的実践能力）。

DP3. 疾患の予防、診断および治療の新たなニーズに対応できるよう生涯にわたって自己研鑽し、継続して自己の専門領域を発展させる基礎能力を医療経済学の観点から身につける（自己研鑽力）。

DP4. 多職種（保健・医療・福祉）と連携・協力しながら歯科医師の専門性を発揮し、患者中心の安全な医療を実践するために必要な基礎知識を医療経済学の観点から修得する（多職種が連携するチーム医療）。

DP5. 歯科医療の専門家として、地域的および国際的な視野で活躍できる能力を身につけるために必要な基礎知識を医療経済学の観点から修得する（社会的貢献）。